



# 志津南

## 7月号 news

志津南ホームページ  
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (5/31 現在)  
世帯数 2,527 総人口 6,693 人

発行  
志津南学区まちづくり協議会  
Tel(fax) 077-563-6206  
E-mail shizu373@machikyoub.jp

志津南子どもフェスタ

### 出店者・ボランティア募集



昨年のプレ開催風景

ふれあい推進委員会 (猪口俊輔委員長) は、10月29日(日)、ロクハ公園スポーツ広場で「志津南子どもフェスタ」を開催します。

これは、子どもたちの健やかな健康を願い、子どもたちを中心に多世代が集う学区全体のイベントです。模擬店、遊び・体験、フリーマーケット、ふれあいステージ、チャレンジャーまでお越しください。

計画、楽しい催しが一杯です。

ただいま各コーナーの出店者及びボランティアスタッフを7月31日まで募集中です。各種団体、グループや個人でも結構です。みんなで楽しくイベントを盛り上げませんか。ぜひご応募をお待ちしています。申し込みやご相談はまちづくりセンターまでお越しください。

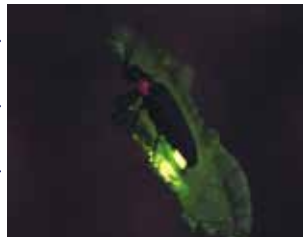
### ホテルの予備知識を学ぶ子ども達



青少年育成委員会(山本晃一委員長)は6月10日、ホテル観覧会を開催しました。

15分ほど歩いて伯母川へ向

### 幻想的な光を放つホテル



梅雨の時期で、天気が心配されましたが当日は曇りで、無事にホテルに会いに行くことができました。

志津南学区の小中学生と保護者・スタッフ総勢約200人が参加し、志津南まちづくりセンター大会議室でホテルに関する予備知識を学びました。

「飛んでる」「きれい」と歓声があがっていました。

コロナ禍で4年ぶりの開催となったこともあり、ホテルを観るのが初めての児童も多く、夜空に舞うホテルの幻想的な美しさに「飛んでる」「きれい」など歓声があがっていました。

## 「飛んでる」「きれい」と歓声 4年ぶりホテル観覧会



今後もホテルが生活できる自然環境を保全し続ける会でした。

この大切さを学べた観覧会でした。



若草一丁目みまわり隊

### 恒例訓練に加え防犯対策も

### 消火ホースの取り扱いを体験する参加者



若草一丁目町内会(鶴飼則行会長)と「みまわり隊」(大倉清廣隊長)は5月28日、毎年恒例となっている災害訓練を実施し、町内会役員・招待者を含め50人が参加しました。

今回は新しく防犯対策を組み合わせ、啓発用の紙芝居をボランティアの秋山謙二夫妻に作成依頼、集会所会議室でのプレゼンで空き巣

受動喫煙ゼロへ

志津南学区健康推進員連絡協議会(千金葉晃子代表)は6月10日、志津南まちづくりセンター前で受動喫煙防止・禁煙推進活動を行いました。

この日は、小学生を対象としたホテルの観覧会が実施されており、これに合わせ、望まない受動喫煙をなくそうなどと書かれたディスプレイを保護者に配布し、受動喫煙防止・禁煙推進の思いを呼びかけました。

また写真。



追分南 自主防災会

入希望者を募っています。招待者として、前日まで

追分南町内会(南尚志会長)は5月28日、今年度最初の自主防災会を開催しました。

今回は自主防災訓練にむけ、自主防災の規約の確認、事業計画、防災組織図・任務等の説明・確認などを行いました。

屋外では、恒例の自家発電機や消火ホースの取り扱いを2班に分かれて体験しました。隊員の手際よい指導やチームワークの良さに参加者一同は感心しました。

いざという時には日頃の訓練が欠かせないとの認識で、みまわり隊は取り組んでいます。



# 清掃で通学路安全確保



協力して通学路を清掃する参加者

志津南小学校PTA (楠原智香会長) は5月23日と6月6日、志津南環境美化ボランティアの会(舟木要一代表)と合同で、スターグリーンヒル店からキリン堂までのかがやき通り歩道の清掃を実施しました。

環境美化ボランティアの会に、草刈り機や防護ネット・草やゴミの回収トラックなど

## 山の草丈もなくなった



を準備していただき、2日間に分け、片道ずつ清掃を行いました。草が伸びている所、木が歩道まで飛び出している所、かがやき通りは、子ども

若草・岡本西地区環境美化委員会(野瀬正照委員長)は5月21日、地域の一斉清掃を行い、事前清掃を含めて全町で約900人が参加しました。

お忙しい中、一斉清掃に参加協力していただいた皆様、ありがとうございます。次回、夏の「一斉清掃」は7月16日(日)を予定しています。ご協力のほどよろしくお願いたします。

ゴミが吹き溜まりになっている所などを整備することができ、見通しが良くなり、歩道の幅が広くなりました。安全が守られていることに感謝しています。

# 健康推進員 知っていますか?

<後編>



●健康推進員になるには? 草津市が主催する養成講座を受け、終了後、各学区での活動に参加します。

市の養成期間は7か月前後、計20~24時間の講義が予定されています。

講義内容は、健康づくりのための食生活や運動、母子保健・生活習慣病予防・食品衛生、栄養・バランス、免疫、離乳食などを盛り込んだ調理実習など。推進員

●滋賀県は健康? 発表された令和2年度都道府県別平均寿命によると

- 滋賀県は、
- 男性 82・73歳(1位)
- 女性 88・26歳(2位)

全国でもトップクラスの長寿県です。喫煙率が低い、食塩摂取量が少ない、社会活動が活発である等の統計があり、健康的な生活習慣が根付いているのではないのでしょうか。

●バランスの良い食事 「まごわやさしいよ」をし

健康は、無理なく、できる人が、できる時に、できる事をする。元気に楽しく、これからも地域の皆さんの健康づくりをお手伝いしていきたいと思っています。

伝統的な食材には、生活習慣病予防や健康長寿のための有効な栄養素が含まれています。それらにヨウゲルトを加えることで、不足しているカルシウムを補給でき、健康効果を高めます。献立を考える時に、参考にしてみてください。

## コート狭しとボールを追う参加者



志津南学区スポーツ振興委員会(高瀬佳代子委員長)は6月18日、志津南小学校で令和元年以来4年ぶりにソフトバレーボール大会を、若草バレーボールクラブの協力を得て開催しました。

コロナ禍の中で様々なイベントが制限され、体を動かす機会も少なかったこの3年余りでしたが、5月から新型コロナウイルス感染症が感染法上の5類へ移行したことを機に、

## 幅広い年齢層で楽しく清々しく

初夏を感じる暑い日でしたが、あらかじめ事前清掃協力の方々の機械作業による下草刈りが行われてお

## 9000人 春の一斉清掃

当日は刈草集めや不法投棄物の回収を行いました。おかげで公園や町なみがキレイさっぱりとなり、気持ちよく夏本番を迎えることができそうです。

様々な場面において制限が緩和されつつあります。今回、健康維持のための軽い運動を含めたスポーツ振興を目的として参加者を募ったところ、小学生から80代までの幅広い年齢層の男女28人の参加がありました。

ソフトバレーボールは、ゴム製のやわらかいボールを使用し、誰もが安全に容易に楽しめるようにと、福井県小浜市で考え出された



当学区では、平成26年から65歳以上の皆さんを対象に「安心のバトン」写真集を配布していましたが、一時的に断っていました。今年度、70歳以上の皆さんを対象に再開する予定です。

「安心のバトン」は、高齢者が急病などで倒れた際、駆けつけた救急隊員等が素早く対応できるよう、持病やかかりつけの病院、服薬

配布時期や取り扱い方法等の詳細については、改めてお知らせいたします。

## 「安心のバトン」のご案内

今年度中に70歳になられる方だけでなく、70歳以上の希望される方にもお配りします。また、情報の更新が必要な方には用紙だけお渡しますので、保管状況を確認しておいてください。

万が一の時、援助者に情報をいち早く確実に知らせ、命を守るための取り組みとして、多くの自治体で「命のバトン」「あんしんバトン」などの名称で実施されています。

大会結果は、1位が追分南③チーム、2位が追分南②チーム、3位が追分南①チームとなりました。なお、今年度から組織名を体育振興委員会からスポーツ振興委員会へと変更し、活動をしています。



# どんな生き物がいるの



志津南小学校(山田容子校長) 三年生は5月24日、総合的な学習の時間の一環として、志津南環境美化ボランティアの会の協力の下、伯母川で暮らす生き物を調べました。



「どんな生き物がいるの」等、期待と不安でいっぱいの子もたちでしたが、流れる水の気持ちよさに心を踊らせ、夢中になって魚やザリガニを捕まえていました。

身近な川とはいえ、実際にに入った経験もなければ、網で魚を捕った経験もない子どもがほとんどです。「川の深さは」「水の冷たさは」

物は、二人の講師に種類ごとに分けてもらい、カワムツやドンコ、ヌマエビやアメリカザリガニ、ヤゴ等

たくさんの種類の生き物が生息していることが分かりました。身近な川にこんなに多くの

の生き物が暮らしていることに驚き、自然の豊かさを大切にしたいと実感できた貴重な体験となりました。

## 願い込めて 大きくなあれ



### 畑でイモの苗を植える子ども達



かがやきくいら保育園(福田早苗園長)は5月22日、

追分南地先の畑へ5才児15人と職員4人が、サツマイモ苗の植え付けに出かけました。

昨年度は、紅はるかを栽培し、甘い芋がたくさん収穫できたので、今年は紅は

## 五感で学ぶ関ヶ原

志津南まちづくりセンターは5月17日、教養文化講座「史跡探訪」を開催し、受講生24人が参加しました。今年のテーマは「どうする家康 京・近江を巡る」です。第一回は「姉川から関ヶ原古戦場跡地」を巡りました。姉川では、国友鉄砲ミュージアムを訪れ、鉄砲伝来の歴史や製造工程などを学びました。写真。鉄砲が戦国時代に果たした重要な役割や織田、豊臣、徳川との関わりも学び、実際に火縄銃の重さを実感しました。

1ジウムを訪れ、鉄砲伝来の歴史や製造工程などを学びました。写真。鉄砲が戦国時代に果たした重要な役割や織田、豊臣、徳川との関わりも学び、実際に火縄銃の重さを実感しました。

## 春のウォーキング

志津南学区健康推進員連絡協議会(千金菜晃子代表)は5月27日、恒例の春のウォーキングを行いました。

き入り、居眠りをする間も、なく時間が過ぎ、楽しい有意義な一日を過ごすことができました。

曇り空でしたが、熱中症に気をつけ、途中で水分を取りながら参加者35人が桐生方面へ出かけました。写真。到着した若人の広場では、同行の立命館大学生より、毎日のウォーキングに関するアンケートの依頼がありました。ゆっくりのペースはできませんでしたが、歌と手遊びの後、帰路へ。往復1万4千歩のウォーキングを楽しみ、元気に志津南まちづくりセンターへ帰りました。

マンサクは、まだ寒い2月ごろに、黄色のリボンが連なったような花を咲かせます。いち早く春の訪れを告げる花木で、「まず咲く」が転じてマンサクと名付け



### 花材

マンサク、カフ、アカパンサス、ナルコユリ、コバノズイナ

マンサクの葉のグリーンが、とても生き生きとして活力を感じます。真っ赤な花器とのコントラストも美しく、色の対比を意識した作品です。

どの枝葉を残し、どの枝葉を切るか。切ってしまうともう元には戻せません。たかが枝葉ですが、作品の出来入るその時が、一番緊張する瞬間です。

5F展望室には、360度の展望で家康が見たであろう景色が広がっていました。当時の戦いに想いを馳せ、関ヶ原の戦いを五感で学ぶことができました。



秋のはつらつウォーキングにも、たくさんの方の参加をお待ちしています。

## 今月の志津南文庫

この本から、読みたい本を見つけて、本を読む喜びが見つけれられるかも...

本と幸せ 北村薫 新潮社

- 幸腹な百貨店 秋川滝美 講談社
- ボタニカ 朝井まかて 祥伝社
- ふがいない僕は空を見た 窪美澄 新潮社
- 子どもの見ている世界 内田伸子 春秋社
- 50からの老いない部屋づくり 部屋を考える会 KADOKAWA
- ストレッチング&ウォームアップ 杉浦晋 大泉書店
- 楽語・すばる寄席 夢枕獯 集英社

他



# 元気に楽しくやすらぎ開講式

## おしゃべりの花が咲いたサロン



に迎え開講式を行いました。

志津南まちづくりセンター「やすらぎ学級」は、5月24日、「楽しく歌って明日も元気」と題して、音楽療法士尾木八重子さんを講師

日へのパワーをもらった学級生でした。講座終了後、花やクロスでかわいく飾って、いつもとは違う雰囲気につつま

## 味も上々 パッククッキング

地域サロン「志津南アンサンブルパワー」(吉田知津子代表)は6月17日、志津南

健康推進員連絡協議会の協力を得て、防災食体験講座を実施しました。22人が参加し、パッククッキング



(右上) 袋に入れて (右下) 鍋で湯せん (左) 好評だった親子丼の完成

のまま湯せんして調理を行う手法です。焼き鳥の缶詰と卵を入れて5分で親子丼ができた。ホットケーキミックスで蒸しパンができた。

られたセンターサロンに移動。しばし、冷たい飲み物とお菓子でおしゃべりの花が咲きました。

## 久しぶりの食事会

追分南町内会「元気くらぶ」は5月19日、追分南会



館で食事会を開催しました。今回はコロナ禍後初めての食事会で、手を汚さずに食べようとお弁当を取りました。写真。

## リニューアル完了



味も上々でした。ポリ袋さえあれば、災害時に貴重な水を汚さず調理ができます。これなら誰でもできると、参加者にも好評でした。災害はいつ起こるかわかりません。日頃の備えが大切だと分かっていても、特別な非常食を常備しておくことがついおろそかになる場合もあります。日常の食材をそのまま利用することができる事も大きなメリットとなります。もっと別のレシピも紹介して欲しいという声もありました。

せていましたが、この度ブルーのカーテンを新調しました。気持ちよくご使用いただけるよう、願っています。

## パソコンの駅

パソコンについての相談

▽7月26日(水)

8月25日(金)



## ハロウィック水泳

今回は、あまり聞きなれない名称ですが、とても心温まるボランティア活動の一つ「ハロウィック水泳」に関わったことを綴ってみたいと思います。

今から30数年前に、滋賀県立障害者福祉センターが草津市笠山に設立されました。施設内には健常者も一部使用できるプール設備もあることを知り、健康のためにと通い始めました。その頃、センターで泳ぎがベテランの女性と出会い、この縁でハロウィック水泳法をとりいれた「ラッコ&イルカ」というとても愛らし

13時~16時  
▽センターサロン

## 資源回収

- 毎月第2・4日曜日 若草1~8丁目町内会 岡本町西町内会
- 毎月第2・4土曜日 かがやきの丘町内会
- 毎月第1・3土曜日 フォレストローア子ども会
- 毎月第2日曜日 向山子ども会

※回収品は古新聞・古雑誌・段ボール・ウエス・雑紙



県立障害者福祉センターのプール

かり、浮き具の使用無しで向きあうように抱っこして、マンツーマンでプールに入っています。また、平成12年、ハロウィック水泳法の学びを深めるために、仲間と共に発祥地ロンドンに一週間滞在し、

「英国水泳療法協会」のマーチン先生の指導で水泳法を学び、自信を持つことができました。子どもさんは、最初親御さんから離れる時は不安気で緊張気味、時には泣き出したり。でもいざ抱っこしてプールに入ると、リラックスした笑顔になります。向かい合って話しかけたり、歌ったり、ゲームをしたりと、楽しくスキンシップができたことが懐かしく思い出される昨今です。後日、十数年ぶりで遅しく成長したお子さんに出会い感激でした。体験を通して人との出会いから得る学びも多く、参加できる幸せに感謝しながら、自分自身のためにもまだまだ一ボランティアとして活動意欲を持ち続け、「わたがしをそろ歩き」を綴りたいと思います。(松本孝子)